

※公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院では1日間のオリエンテーションのみ実施し、主な研修は和泉中央病院にて実施しています。

医師臨床研修制度 医学教育モデル 精神科カリキュラム
研修実施施設 : 医療法人貴生会 和泉中央病院

<一般目標 GIO : General Instructional Objective>

精神と行動の障害に対し、全人的な立場から病態生理 診断 治療を理解し良好な患者と医師の信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。

<行動目標 SBO : Specific Behavioral Objective>

・医療面接 医師・患者関係の構築

医療面接は臨床の第一歩であり、その目的は、正確な情報収集（言語的 非言語的）と医師患者間の信頼関係の構築にある。それに際して、治療者は患者の症状に共感し、患者が積極的に治療に参加できるような雰囲気作りを構築することが重要である。上記の実践に当たっては、具体的に自己紹介などの挨拶から始まり、真摯な態度で丁寧に訴えを聞いていく姿勢が必要となる。精神科の臨床においては、生活歴や現病歴 家族歴などの詳細な記載が診断に大きく関わってくるため、そのような情報を正確に把握するためにも医師患者間の信頼関係の構築が重要である。

・精神症状の捉え方の基本

精神症状とは何かについて学習する。正確な知識 専門用語の理解とともに、医療面接を通して得られた情報から何が精神症状かを理解、判断できる技術を身につける。具体的には、もの忘れや興奮 昏迷 せん妄 抑うつ 躁状態 幻覚妄想状態などの精神症状を十分理解する必要がある。症例を通して実践的に学習する。

・精神疾患に対する初期対応と治療

精神科の患者は全体的に過敏な状態にあり、刺激に対して過剰に反応する。このため初期対応として大切なことは、患者の安全を確保し安心感を与えることである。その上で訴えを傾聴し、十分な共感の基に現在の状態をわかりやすい言葉で説明し、治療の必要性に言及していくことが必要である。その関わり方について学習する。

・精神疾患の診断 治療

主要疾患である統合失調症 うつ病 認知症 依存症について入院 外来症例について学ぶ。外来では神経症からうつ病 統合失調症 認知症（物忘れ外来）などの予診陪席を通して精神症状の把握 検査 診断 治療方針を学習する。入院については、救急医療 統合失調症 うつ病 認知症 依存症などの各種疾患の特徴 関わり方 治療、退院支援などの在宅支援について学習する。いずれも外来から入院に至る経過

各種検査指示 診断 治療方針を指導医とともに共観する形で実践的に学習する。治療に当たっては精神療法 薬物療法 認知行動療法 リハビリ療法などについて、それぞれの特徴を学ぶ。

・精神保健福祉法 自立訓練などの理解

精神医療の現場においては、患者の医療及び保護を行う目的で精神保健福祉法が定められている。精神科の入院には、任意入院 措置入院 医療保護入院 応急入院など様々な形態があり、それぞれについての法的理解が必要である。また隔離拘束などの行動制限についても、精神保健福祉法との関連で理解する必要がある。また地域生活を支援するものとして自立訓練各種についても学習する。

・症例カンファレンスと多職種連携

指導医の指導の基に患者の症状の把握 診断 治療を行い、ケースレポートを作成する。それを多職種（医師 看護師 薬剤師 臨床心理士 精神保健福祉士 作業療法士 管理栄養士）とのカンファレンスにより評価し、研修医にフィードバックする。

・精神医療と地域包括ケア

精神医療はまさに包括ケアであり、地域で生活していくためには、そのハンディキャップに応じた様々な社会資源を利用して生活を安定させる必要がある。デイケア デイナイトケア 重度認知症デイケア 生活訓練施設 グループホーム 就労支援 就労移行支援 訪問看護 介護 地域包括支援センター リワークリハビリテーションセンターなどでの学習体験 カンファレンスへの参加により精神医療の現状を理解する

<方略 L S : Learning Strategies>

毎日朝のカンファレンスに参加。研修医に対しては指導医がついて診療に当たる。入院病棟（急性期 認知症病棟 回復期病棟 慢性期病棟）、外来で指導医と患者を共感する。精神科としての関わり方 接し方から精神症状の把握（特に物忘れ せん妄 うつ状態などの理解）診断（鑑別診断を含む）治療について、実際の臨床を通して学習する。また、DVD 書籍などの学習教材も併用しながら学習を進める。急性期医療においては入院から退院に至るパスに基づいて多職種と連携し、退院後の社会的支援（アウトリーチ）についても計画を立てられるようにする。物忘れ外来ではMRI や心理検査などを通して診断 治療方針 介護連携などについて学習する。毎週指導医と面接し、ミニレクチャーを受けるとともに治療について相談し意見交換する。また、院内勉強会 WEB研修 薬事委員会などの教育プログラムに参加して技術の向上を目指す。必要症例についてはレポート提出を行い、カンファレンスで発表し評価する。

＜研修評価 EV : Evaluation＞

研修目標各項目について自己評価 指導医評価を行う

評価については EPOC レポート 面接等を用いて行う

月 モーニングカン ファレンス	火 モーニングカン ファレンス	水 モーニングカン ファレンス	木 モーニングカン ファレンス	金 モーニングカン ファレンス
a m 外来 物忘れ外来	病棟	外来	病棟	病棟
デイケア	作業療法		病棟カンファレ ンス	病棟カンファレ ンス
p m 病棟	病棟	認知症ケア	往診同伴	外来
カンファレンス 薬剤勉強会	就労支援 リハビリテーシ ョンセンター	Web 研修 勉強会	訪問看護	デイナイトケア